

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 県立佐渡中等教育学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 952 - 0005

新潟県佐渡市梅津 1750 番地

E-mail school@sado-ss.nein.ed.jp

Website http://www.sado-ss.nein.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 131 名 女子 160 名 合計 291 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳 ~ 18 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、豊かな人間性、世界的視野、郷土愛、地域貢献を学校理念として、E S D を総合的な学習の時間の中心テーマに据え、未来像を予測して計画を立てる力、多面的、総合的に考える力、コミュニケーションを行う力、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度の育成を図っている。

具体的には、キャリア、エネルギー、国際理解、文化多様性、地域の伝統文化、文化遺産、人権・平和、持続可能な生産と消費を柱に、①佐渡を豊かにする中等生プロジェクト、②原子力・エネルギー学習、③海外研修旅行、④デイリーイングリッシュキャンプ・外国語スピーチコンテスト、⑤佐渡学、能楽、⑥地域清掃・3R キャンペーンなどの学習や活動を行った。

### ① 佐渡を豊かにする中等生プロジェクト

前期課程での総合的な学習の時間の成果を基に、後期課程の有志生徒が、地域・社会のリアルな課題を解決するプロジェクトである。今年度は、4 つのプロジェクトチームが、自らの力で佐渡島をクリエイティブに、より豊かにしていく活動を行った。

## ② 原子力・エネルギー学習

1年生が、柏崎刈羽原子力発電所、新潟雪国型メガソーラー発電所、東新潟火力発電所、新潟工科大学を見学した。事後には、レポート作成や発表を行うとともに、仲間と意見交流することを通して、エネルギーの視点からESDの見方や考え方を深めた。

## ③ 海外研修旅行

オーストラリア海外研修でのホームステイをとおして、佐渡の地域を発信し、国際社会の中で日本や佐渡の芸能や文化をパワーポイントを使って発信した。これらの活動により、生徒たちが世界中の人々の多様な思考、生活様式に対して理解を深めることができた。

## ④ デイリーイングリッシュキャンプ・外国語スピーチコンテスト

佐渡に赴任しているALTと佐渡島内の中学生・高校生を佐渡中等へ招き、グループになって、英語で様々な活動を行った。

外国語スピーチコンテストでは、佐渡島内の小学生、中学生、高校生が参加した。この活動を通して、事前学習、発表、評価により生徒の英語力、自己表現力を向上させるとともに、異文化理解を促すことができた。

## ⑤ 佐渡学・能楽

生徒たちが佐渡独自の文化や伝統を理解して深めるために、佐渡の伝統文化である「能楽」を学んでいる。昨年夏に佐渡島内の能舞台で鑑賞し、生徒自身も「能」の謳いを披露して伝統文化の一翼を担う活動をした。

## ⑥ 地域清掃・3Rキャンペーン

生徒会の有志が、学校周辺から海岸までの地域清掃をしたり、文化祭で3Rキャンペーンを行った。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 課外活動 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

宝生琉初級謡本第1・2巻、
---------------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間の全体計画（目標系列、育てたい資質・能力、内容）に、(2)のアイを配置している。

併せて、総合的な学習の時間の年間指導計画で、キャリア教育、佐渡学・能楽の各内容、内容項目、活動、学年、配当時数を明記することで、ユネスコスクールとしての3の活動内容が着実に実践されるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教育委員会や民間団体（厚生財団）の支援事業を活用して、予算の充足に努めている。

NPO等の外部団体と連携し、人的・物的資源の確保に努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

支援者や団体を招いての成果発表、学校評価アンケート（生徒・保護者・職員）、学校評議員への説明、WEBページや報道機関への情宣活動などを通して、多面的・多角的に評価ができるようにしている。

これにより、保護者や外部団体からの支援が増加し、生徒の活動への意欲を高めたり、活動を充実させることができた。

ユネスコスクールの認知を更に高めたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校だより(保護者・生徒・地域)、中等通信(島内小学生)、プロジェクト通信(行政・協賛企業・NPO)、ポスター等の紙媒体やホームページへの掲載、校内、行政、民間主催のフォーラムやシンポジウムでの成果報告、地元ケーブルテレビ、新聞社への報道依頼などを行った。

国内外からのメールによる交流依頼や活動に関する問合せ、大学や留学生の視察などがあつた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

佐渡キャリア教育ネットワーク、新潟アントレプレナーシップラボ、両津の未来を考える会、佐渡市教育委員会、佐渡青年会議所、オアシス夏2017実行委員会、そうだ!佐渡へいこう!!実行委員会、さどみらい創生会、sadobands、海の日フェス実行委員会、公益財団法人鼓童文化財団、総合福祉センターしゃくなげ、地元事業者等

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

トルコ、米国、ドイツから交流依頼のメールを受信。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

活動を通して、生徒たちの自己有用感が高まった。  
地域からの当校への期待が一層高まった。  
外部との交流を組織した指導を実践する教員が増えた。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度の成果と課題を踏まえ、更に活動を充実・発展させる。  
Eポートフォリオ研究の一環として、活動の成果を生徒個々が外部へ発信する力を高める。